



## 研究部会報告

### ● システム最適化の理論と応用 ●

日 時：5月13日(土) 14:00~17:00

出席者：15名

場 所：九州大学経済学部2階中会議室

テーマと講師：

(1)「学習理論を基礎とした最適化手法による企業評価モデルの構成」

譚 康融 (久留米大学経済学部)

企業評価モデルを構成する場合に、学習理論を基礎とする3つの方法を提案した。DEAによる金融機関の効率性分析、ファジイ推論による格付けの方法、カオス時系列の予測手法を企業の評価モデルとして用いることである。

(2)「ウェーブレット変換を用いた株価予測と特徴づけについて」

岸川 善紀, 矢加部 利幸, 時永 祥三 (九州大学経済学部)

株価を特徴づける方法として短期的な時間変動を抽出するウェーブレット変換を用いることを提案した。

### ● 評価のOR ●

・第1回

日 時：5月20日(土) 13:30~16:00

出席者：29名

場 所：政策研究大学院大学

テーマと講師：

(1)「仮想の事業体(DMU)を利用したDEA」

杉山 学 (群馬大学 社会情報学部)

基準となる仮想DMUを設定し、DEA効率値が同じ値になるように仮想DMU群を構成するDEA/仮想DMU分析法を提案した。

(2)「首都機能移転における重み付け手法による総合評価」 高村 義晴 (国土庁大都市圏整備局)

19名の委員から構成される国会等移転審議会において、3年間の調査審議後、移転先候補地が選定されたが、その際に用いた重み付け手法による総合評価法を紹介した。

### ● COM・SCM・スケジューリング ●

・第22回

日 時：5月25日(木) 18:00~21:00

出席者：55名

場 所：青山学院大学 青山キャンパス総研ビル10階 18会議室

テーマと講師：

「e-businessにおけるSCPパッケージの位置付け—SAP APOのご紹介およびデモ」

後藤 真紀子 (SAP ジャパン)

本講演は、メーカー、仕入れ先、顧客を結ぶ「コラボレーティブ・ネットワーク」の最適化を指向する管理ツールであるAPO (Advanced Planner & Optimizer) の管理思想と各種機能を紹介し、物と情報の統合的管理の具体的な方向性を示した。

### ● ゲーム理論とその応用 ●

・第2回

日 時：5月27日(土)

出席者：25名

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス西4号館 W 461 講義室

テーマと講師：

(1)「An  $\alpha$ -core and a  $\beta$ -core of an Incomplete Game」 内海 幸久 (慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程)

情報不完備な戦略形ゲームにおける $\beta$ -コアの存在の十分条件、及び $\alpha$ -コアとの関連についての成果が報告された。

(2)「ポテンシャル関数を用いた均衡選択理論について」 宇井 貴志 (筑波大学社会工学系)

戦略形ゲームにおけるポテンシャル関数について、ナッシュ均衡との関連、特性関数形ゲームにおけるポテンシャル関数との関連、均衡選択理論との関連などについての成果が報告された。

### ● AHPの理論と実際 ●

・第1回

日 時：5月30日(火) 14:00~17:00

出席者：18名

場 所：財電力中央研究所大手町第一会議室